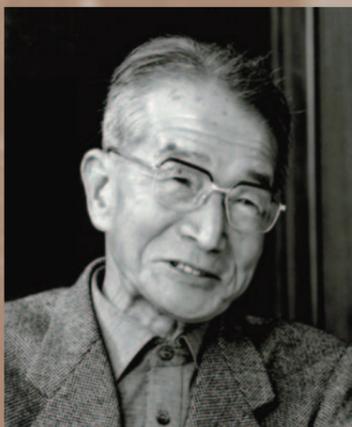


科学の面白さはどこにあるのか、日本の科学技術の強みと弱みは何か、
未来に向けて理科教育はいま何を伝えるべきか ——

科学に興味をもつ高校生や理科の先生方とともに考えます



上田良二先生(1911~1997)は、電子顕微鏡や超微粒子の研究で開拓的な仕事をしました。今日のナノサイエンスの源流の一つは、第二次世界大戦中の先生の研究にあります。先生は、「運のよい人は偉い人」「若手は賭けをする勇気を持って」「応用基礎研究をめざせ」といった印象的なメッセージで若い研究者に励ましを与えました。さらに、「科学に国境はない、しかし科学者には祖国がある」というパスツールの言葉を胸に、世界中の人々への贈り物となるような基礎研究が日本から続々と輸出される時代の来ることを夢みていました。

上田良二先生 生誕百年
記念講演会
「科学する精神と日本社会」

日時 2011年10月1日(土)
14:00 ~ 16:30

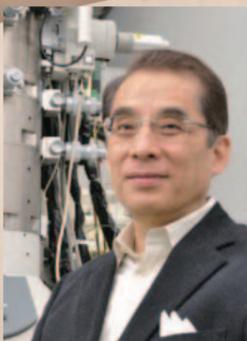
会場 名古屋大学 I B 電子情報館大講義室
(名古屋大学駅3番出口すぐ)



志村 史夫

「漱石と寅彦と私 —— 師弟関係のなかの科学と社会」

しむらふみお…1948年生。科学哲学から古代技術や寅さんまで、多彩な執筆活動を展開。静岡理工科大学教授。



外村 彰

「基礎研究への夢 —— 電子線ホログラフィーができるまで」

とのむらあきら…1942年生。電子線ホログラフィーの発明者。日立製作所フェロー、文化功労者、日本学士院会員。



和田 昭允

「独創の育つ社会を作る
——ゲノム解読からフロンティア高校へ」

わだあきよし…1929年生。遺伝情報の高速自動解析の提唱者。東京大学名誉教授、横浜サイエンスフロンティア高校常任スーパーアドバイザー。

主催

応用物理学会東海支部、日本物理学会名古屋支部

後援

名古屋大学工学部応用物理学教室

申込方法) 高校生・大学生・大学院生・小中高校の先生・一般の皆様を御来聴を歓迎します。
参加費は無料です。氏名・所属・懇親会(3500円)出欠を明記のうえ、
ueda100@iku.xtal.nagoya-u.ac.jpあてにお申込下さい。